

U.S. Indicators

発表日: 2021年10月4日(月)

米国 製造業は供給制約も堅調持続(9月ISM製造業)

～労働力不足、物流のボトルネック等によるインフレ圧力の高まり継続～

第一生命経済研究所 経済調査部

主任エコノミスト 桂畑 誠治(Tel:03-5221-5001)

21年9月のISM製造業景気指数(季節調整値)は、61.1(前月59.9)と市場予想59.5(筆者予想60.6)への低下に反して前月比+1.2%ポイント上昇し高い水準を維持した。入荷遅延が高い水準となっているほか、雇用が50前後で推移するなど供給制約が続く一方、新規受注、受注残が高い水準を維持し需要の強さを示した。

新型コロナウイルスのパンデミックによる労働者不足、原材料調達の制約、部品不足等を背景とした短期間の工場閉鎖、雇用のミスマッチ、海外のサプライチェーンの問題が米製造業の成長を抑制し続けており、自社やサプライヤーが需要の増加に対応できていない。それでも、米製造業が力強い回復を続けていることが示された。

9月の企業からの報告では、引き続き多くの部門で、需要の強いなか、供給制約が問題になっていることが指摘された。半導体不足のほか、新型コロナウイルスの感染拡大による労働力や部品不足を背景とした工場の稼働率低下、港湾での作業の遅れ、海上輸送用のコンテナ不足、原材料価格の上昇などが問題になっていると報告された。例えば、コンピューター・電子機器では、港湾の能力不足、コンテナ不足等によって多くの電子部品、組立部品が不足していることが指摘された。化学製品などは、ハリケーン「アイダ」の影響が残存していることが報告された。自動車部門では、労働力不足が主要な問題となっているほか、プラスチック樹脂、ポリウレタンなどの原材料、電子機器等の供給制約を受けていることが指摘された。

また、ISMは、製造業の全部門が原材料の記録的に長いリードタイム、重要な基礎材料の広範囲での不足、商品価格の上昇、困難な製品輸送の影響を受け続けていると指摘した。

先行きに関しては、新規受注が66.7(前月66.7)、受注残が64.8(前月68.2)と内外需の回復を背景に高い水準を維持したほか、在庫が55.6(前月54.2)と10年10月以来の高い水準となったものの部品不足による未完成品の増加等によって押し上げられており在庫不足の状態が続いていることから、米製造業部門の力強い回復とインフレ圧力の高まりが継続すると見込まれる。

9月は、全18業種のうち家具・同関連、石油・石炭、一般機械、電気設備・部品、コンピューター・電子機器、化学製品、アパレル・皮革、繊維、紙製品、印刷・関連サポート活動、その他製造業、食品・飲料・タバコ、加工金属、輸送機器、一次金属、非鉄、プラスチック・ゴムの17業種(前月15業種)が拡大しており、多くの業種が拡大を続けている(下線は拡大・縮小が2カ月以上続いたことを示す)。主要6業種では、石油・石炭、コンピューター・電子機器、化学製品、食品・飲料・タバコ、加工金属、輸送機器の順に、力強くから緩やかに成長した。縮小した業種は木材製品の1業種にとどまった(8月2業種)。

9月の構成項目別の変化では、生産が低下した一方、雇用、在庫、入荷遅延が上昇したほか、新規



受注が横ばいとなった。構成項目別の総合指数への寄与度をみると、生産が前月比▲0.12%pの押し下げ寄与となった一方、入荷遅延が前月比+0.78%p、在庫が前月比+0.28%p、雇用が前月比+0.24%pの押し上げ寄与となった。新規受注は前月比0.00%p。

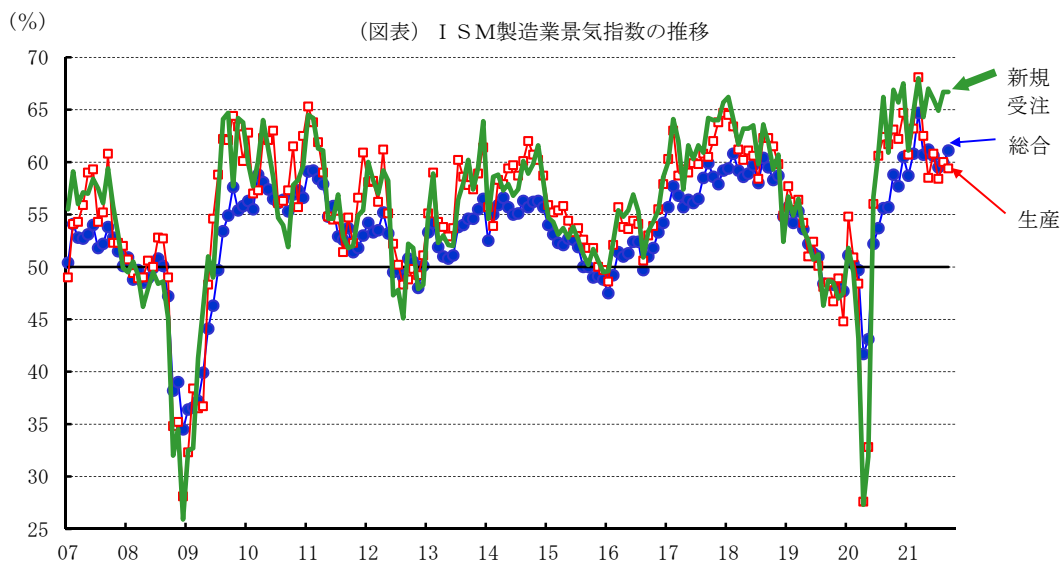
サブ項目では、輸出受注D Iが53.4（前月56.6）と低下したが、50を上回った水準で上昇・低下を繰り返しており米国輸出の回復傾向の持続を示している。また、輸入D Iは54.9（前月54.3）と上昇、50を上回って推移しており、米国輸入の増加傾向持続を示している。新型コロナウイルスのパンデミックが続くなか、内外需要の回復によって貿易量が増加していることが示された。

一方、サプライチェーンの問題による需給バランスの悪化、輸送コストの上昇、資源価格の上昇などを背景に、仕入価格指数が81.2（前月79.4）と高い水準を維持、コストの増加が続いており、インフレ圧力が強いままであることが確認された。

I S M製造業景気指数

	総合	新規受注	生産	雇用	在庫	入荷遅延	受注残	仕入価格	輸出受注	輸入
20/11	57.7	65.7	62.2	48.3	50.8	61.7	56.9	65.4	57.8	55.1
20/12	60.5	67.5	64.7	51.7	51.0	67.7	59.1	77.6	57.5	54.6
21/01	58.7	61.1	60.7	52.6	50.8	68.2	59.7	82.1	54.9	56.8
21/02	60.8	64.8	63.2	54.4	49.7	72.0	64.0	86.0	57.2	56.1
21/03	64.7	68.0	68.1	59.6	50.8	76.6	67.5	85.6	54.5	56.7
21/04	60.7	64.3	62.5	55.1	46.5	75.0	68.2	89.6	54.9	52.2
21/05	61.2	67.0	58.5	50.9	50.8	78.8	70.6	88.0	55.4	54.0
21/06	60.6	66.0	60.8	49.9	51.1	75.1	64.5	92.1	56.2	61.0
21/07	59.5	64.9	58.4	52.9	48.9	72.5	65.0	85.7	55.7	53.7
21/08	59.9	66.7	60.0	49.0	54.2	69.5	68.2	79.4	56.6	54.3
21/09	61.1	66.7	59.4	50.2	55.6	73.4	64.8	81.2	53.4	54.9

（出所）I S M : the Institute for Supply Management



（出所）I S M

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命保険ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

